

英語科 学習指導案

日 時 平成25年10月10日(木)

学 級 1年 5組(男子17名 女子15名 計32名)

場 所 1年5組教室

授業者 佐野 亜紀子

1 単元名 PROGRAM7 Dilo the Dolphin (SUNSHINE ENGLISH COURSE 1)

2 単元について

(1) 教材観

Program5ではインドや韓国について触れてきた。本単元では、前の課のイギリス旅行と関連しながらイギリスの絵本とイルカ・ウォッチングを紹介している。2課連続でイギリスの話題なので、さらに詳しくイギリスについて知る機会としたい。生徒にとってはアメリカほどなじみのない国であるが、英語発祥の地であるのでその国の文化や歴史についても簡単に触れ、日本と比較させたい。また、イルカと人との関わりやイルカ・ウォッチングを通じて自然や生物についての関心も喚起していきたい。

言語材料としては「疑問詞 Who」を用いた疑問文、「人称代名詞目的格(him/her)」、「疑問詞 When」を用いた疑問文を扱う。疑問詞を用いた疑問文については What と Where を学習している。これらの使い方を振り返りながら、十分に練習し、定着を図りたい。そして2学期の goal とされている「My Project 2 人を紹介しよう」につなげていきたい。

(2) 生徒観

小学校での外国語活動により、英語を聞いたり話したりすることには慣れている。アルファベットや単語、あいさつ等を聞いて理解したり、話したりすることができる。また、英語を用いたゲームにも積極的であり、英語でコミュニケーションを図る楽しさを知っている。1学期は対話文の聞き取りや単語・文の発音に特に注意して指導をしてきた。外国語活動でも、対話文に慣れ親しんできていることから、疑問文と応答文の一問一答のみで言語活動を行うのではなく、基本表現を膨らませた対話文により言語活動を行いたい。また、生徒はテレビゲームやパソコンで遊ぶ時間が多く、壮大な自然の中で楽しむという経験が多くない。本題材や題材に関わる情報により、自然の雄大さに目を向けさせたい。

(3) 指導観

本単元も、新出言語材料を定着させるために言語活動を中心とした授業を展開させていきたい。その中でも、「疑問詞 Who」の言語活動については質問者が、自分が分かっている人について、相手が知っているかどうか確認する(クイズ)形式で行う。クイズを出題する際に、質問者はその人物について4文ほどヒントを出すので、今まで学習した事項を活用して様々な情報を提供させたい。また、自然への興味・関心を引き出すことのできる題材のため、ふだんあまり関わることのない自然にこの単元を通して触れさせたい。以上、言語材料の定着を図ることを基本に、自然の中で生きているのだということを理解させたい。

3 単元目標

- (1) 人の名前などをたずねたり答えたりする。
- (2) 発表の際に、間違えることを恐れず話す。
- (3) 疑問詞 Who を用いた文の構造を理解する。
- (4) 人称代名詞目的格(him/her)を用いた文の構造を理解する。
- (5) 疑問詞 When を用いた文の構造を理解する。

4 単元の評価規準

コミュニケーションへの関心・意欲・態度	外国語表現の能力	外国語理解の能力	言語や文化についての知識・理解
① 発表の際に、間違ふことを恐れず話している。	① 人の名前などをたずねたり答えたりする。	/	① 疑問詞 Who を用いた文の構造を理解している。 ② 人称代名詞目的格(him/her)を用いた文の構造を理解している。 ③ 疑問詞 When を用いた文の構造を理解している。

5 単元の指導計画並びに評価

時間	○ねらい ・学習活動	単元の評価規準	評価方法
1	○本単元で身に付ける技能や理解する内容を知る。 ・本単元で身に付ける技能や理解する内容を知る。 ○疑問詞 Who を用いた文の構造を理解する。 ・疑問詞 Who を用いた文の構造を知る。 ・ Who を用いた文を使えるように練習する。	言知①	後日ペーパーテスト
2 本時	○人の名前などをたずねたり答えたりする。 ・クイズを作成し、発表する。	関心① 表現①	活動の観察 後日ペーパーテスト 後日インタビューテスト
3	・教科書本文を通して、 Who の使い方を理解する。	言知①	後日ペーパーテスト
4	○人称代名詞目的格(him/her)を用いた文の構造を理解する。 ・人称代名詞目的格(him/her)を用いた文の構造を知る。 ・ him, her を用いた文を使えるように練習する。	言知②	後日ペーパーテスト
5	・自分が興味のある人物について紹介する。 ・教科書本文を通して him, her の使い方を理解する。	言知②	後日ペーパーテスト
6	○疑問詞 When を用いた文の構造を理解する。 ・疑問詞 When を用いた文の構造を知る。 ・ When を用いた文を使えるように練習する。	言知③	後日ペーパーテスト
7	・ふだんの生活について友達と対話する。 ・教科書本文を通して、 When の使い方を理解する。	言知③	後日ペーパーテスト
後日	〈ペーパーテスト〉 ◇疑問詞 Who, When を用いた文の構造についての理解をみる問題 ◇人称代名詞目的格(him/her)を用いた文の構造についての理解をみる問題 ◇人物紹介に関するインタビューテストを生徒同士で行い、教師が評価する。	言知① 言知② 言知③ 表現①	ペーパーテスト ペーパーテスト インタビューテスト

6 本時の指導

(1) 本時の目標

ア 人の名前などをたずねたり答えたりする。

(2) 〈「思考力・判断力・表現力等」を育てるための言語活動の充実のためのポイント〉

事実を正確に理解し、伝達する。(②)

(3) 指導過程

	学 習 活 動	指導上の留意点 「 」は予想される反応	◇教具/◆評価
導 入 10 分	1 あいさつ 2 Warm-up 3 学習課題の把握		
学習課題 Who ~ ?のクイズを作ってみよう! 当ててみよう!			
展 開	4 クイズ作成 (1) やり方の確認 (2) グループで作成 (3) 発表の練習	<ul style="list-style-type: none"> ・教師が示すクイズの例に答え、説明を聞く。 ・協力しながらヒントを作る。 ・一人一文はヒントを発表することを伝える。 ・正しい英文になっているか確認する。 ・発表の順番を決めさせ、練習する。 ・暗記する。 	◇ワークシート
30 分	5 クイズ発表→解答 (1) ヒントを一人一文以上発表する。 (2) 解答を記入 (3) 解答の確認	<ul style="list-style-type: none"> ・前に出て大きな声で発表する。 ・それぞれがワークシートに記入する。 ・ヒントを全部発表し終わったところで、解答を確認する。 	◆発表の際に、間違っていることを恐れず話しているか。 ◆人の名前などをたずねたり答えたりできているか。
終 末 10 分	6 まとめ	<ul style="list-style-type: none"> ・学習内容の確認を行う。 ・本時の自己評価を行う。 	◇自己評価カード

言語活動②：資料と教科書から事実を理解し、みんなに伝達する。